

第74巻（2020年）特集

（本体 2,700 円＋税）

1月号 [No.1]	肝胆膵外科における低侵襲手術と臓器温存手術	
2月号 [No.2]	鼠径部ヘルニア手術を極める	
3月号 [No.3]	大腸癌手術におけるリンパ節郭清の理論と手技	
3月臨時増刊号 [No.4]	消化器外科手術の論点 2020—誌上ディベートと手術手技	（本体 8,000 円＋税）
4月号 [No.5]	内視鏡外科手術に必要な局所解剖—肝胆膵脾	
5月号 [No.6]	内視鏡外科手術に必要な局所解剖—食道・胃	

第73巻（2019年）特集

（本体 2,700 円＋税）

1月号 [No.1]	腹腔鏡下胃切除後体腔内再建の Knack & Pitfalls	
2月号 [No.2]	腹部外傷の救急手術手技 2019	
3月号 [No.3]	誌上ディベート 肝胆膵外科における controversial surgery	
3月臨時増刊号 [No.4]	高度進行消化器癌に対する手術	（本体 8,000 円＋税）
4月号 [No.5]	内視鏡外科手術における助手・スコピストの役割	
5月号 [No.6]	食道癌手術の最前線—合併症ゼロを目指した私の秘訣	
6月増大号 [No.7]	肝胆膵外科手術におけるトラブルシューティング	（本体 4,400 円＋税）
7月号 [No.8]	外科解剖に基づく腹腔鏡下横行結腸癌手術	
8月号 [No.9]	術前シミュレーション・術中ナビゲーションを駆使した消化管手術	
9月号 [No.10]	ICG 蛍光法を用いた肝胆道外科手術	
10月号 [No.11]	腹腔鏡下大腸癌手術におけるメインデバイスの選択	
11月号 [No.12]	いまだからこそ見直される乳房温存手術	
12月号 [No.13]	大腸外科における低侵襲手術の最前線	

第72巻（2018年）特集

（本体 2,700 円＋税）

1月号 [No.1]	この手術に欠かせない必須デバイス紹介—こだわりの理由と正しい使用法	
2月号 [No.2]	胆道疾患に対する腹腔鏡手術	
3月号 [No.3]	急性腹症の外科手術 2018	
3月臨時増刊号 [No.4]	合併症ゼロを目指した最新の低侵襲内視鏡外科手術	（本体 8,000 円＋税）
4月号 [No.5]	下肢静脈瘤の手術	
5月号 [No.6]	小児外科における消化器内視鏡外科手術	
6月増大号 [No.7]	腹部ヘルニア手術のすべて	（本体 4,400 円＋税）
7月号 [No.8]	虫垂疾患に対する腹腔鏡手術	
8月号 [No.9]	難治性肛門疾患の手術治療	
9月号 [No.10]	胆管癌の手術	
10月号 [No.11]	消化器外科 ロボット支援手術の実践	
11月号 [No.12]	腹腔鏡下腓膵体尾部切除の手術手技	
12月号 [No.13]	括約筋間直腸切除術（ISR）の手術手技	

第71巻（2017年）特集

（本体 2,700 円＋税）

4月号 [No.5]	食道癌手術—最新技術	
5月号 [No.6]	解剖学的変異を考慮した肝胆膵外科手術	
6月増大号 [No.7]	潰瘍性大腸炎・クローン病手術のすべて	（本体 4,400 円＋税）
7月号 [No.8]	胃全摘後空腸パウチ再建・噴門側胃切後再建—その有用性と安全に行うコツ	
8月号 [No.9]	攻めるか守るか 直腸癌手術の機能温存と拡大切除	
9月号 [No.10]	肝移植手術に学ぶ	
10月号 [No.11]	食道胃接合部癌の手術	
11月号 [No.12]	直腸癌に対する経肛門アプローチのすべて	
12月号 [No.13]	腹腔鏡下肝切除に必要な外科解剖と手術手技	

その他のバックナンバーは、弊社ホームページ（<http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>）をご参照ください。
在庫のお問い合わせ・ご注文は、弊社ホームページ、TEL 03-3811-7184、FAX 03-3813-0288 にて承ります。